



第31回

## 元気が出る森松展

2023.

9.7-8

(木) (金)

両日とも 9:00~17:00

変化している環境に！

樹脂活

PLASTIC UTILIZATION

森松HP [www.morimatsu.com](http://www.morimatsu.com)

## Invitation

今年も開催いたします!!  
直近3回は完全予約制  
でしたが、今回は4年ぶり  
に通常開催です!!  
SDGsに貢献できそうな  
素材や商品を中心にご提案  
いたしますので、  
皆様のご来場をお待ちして  
おります!!

## 半年ぶりのベトナム訪問

森 直樹 (代表取締役社長)

昨年11月に訪問したホーチミンへ、7月に再び行ってきました。日本全体が酷暑の最中、それと同じか更に暑い天気を想像しつつ行きましたが空港に降りた瞬間、日本の空港で乗り込むときの暑さよりも遥かに過ごしやすい空気です。反面ベトナム北部に位置する首都ハノイは、日本と同様に40℃近い酷暑で、南のホーチミンの方が気温が低いという状況です。滞在中はお陰で日本の暑さを避ける格好になりました。次々と新たなビルの建設が進む滞在先ホテルの周辺や、開発区の様子を見ていると今年1億人を突破し、2050年まで人口の増加がまだまだ続くベトナムの発展を実感できます。(ベトナム一人あたりGDPは4167ドル、日本は39,000ドル)心なしか道路に溢れるバイクに加え、乗用車の割合も益々増えているように感じました。引き続きこれからのベトナム市場での拡販が楽しみです。また余談ですが、店舗により従業員の方がマスク着用しているところはあるもののほぼ全体的にはマスク着用は見られず、むしろ従来よりもバイクに乗る方が付けるマスク着用のみといったところでした。8月となり、9月7日~8日の久々の通常開催を控えた森松展も近づいて参りました。コロナ禍明けが実感出来るような、多くの皆様の御来場を楽しみにしております。



## 本能寺の変

牧野 光昌（企画営業部）



波紋4月号（第454号）へ寄稿してから4ヶ月が経過しました。大河ドラマはいよいよ佳境に入り、戦国時代の最大の謎であり、時代の流れが大きく変わった瞬間でもあった『本能寺の変』がもうすぐです。2020年「麒麟がくる」では信長（染谷翔太）が帝（坂東玉三郎）を排除すると言い始めた事で光秀（長谷川博己）は信長を討つ事を決断しました。そして、映画「レジェンド&バタフライ」では絶対的君主だった信長（木村拓哉）が濃姫（綾瀬はるか）の病を気遣い、残虐さや凶暴さが無くなっていく事に失望した光秀（宮沢氷魚）は我こそが魔王に取って代わろう、と信長を討つ決断をしました。「どうする家康」も武田勝頼が滅び、いよいよ『本能寺の変』に近づいてきました。信長（岡田准一）の言動がほどよく狂気じみてきましたが、今回光秀は何を思って決断するのでしょうか。この寄稿が波紋8月号の紙面としてアップされる頃には、大河の『本能寺の変』はもう終わっているでしょうが、映画の脚本家と同じ古沢良太氏の作品なので、得意の『人間愛』でいか、それとも逆に『狂気』でいか、とても楽しみです。狂演の岡田信長と怪演の酒向芳の光秀とが絡み合えば、松本家康が『わしは天下を取る』と家臣の前でカんでも、所詮田舎の気弱な大名で、戦国時代の狂気に流されていく事になるだろうと思います。本当に天下を狙う様な器になるのは信長への畏怖の念から解放された事を実感した時からだったのでしょね。実家の近くにある、和菓子屋では『どうする家康』のロゴマークが金箔で押された紙ケースに3個バタドラが入った土産物を作っていました。JR安城駅で販売しているそうです。ロゴマークの使用には著作権を取る必要がありますが、宣伝効果はあるようです。なかなかロゴマークが格好良くて、あの円形のロゴマークはこの用途も狙ってたのか、と思いました。それでもなんとなく家康が身近に感じた瞬間でした。

## テニスしてきました

村橋 敦士（総務・経理）



毎年、5月G.W.には大学で所属していたソフトテニス部のOBが集まり、現役の学生と共にテニスをする行事が行われていました。普段、体を動かさない人も現役時代に戻ったかの様に無茶な動きをするため、足がついて来ず、転んだり、空振ったりと体が悲鳴をあげつつも楽しい一日となります。その様な中で、新型コロナウイルスが猛威を振るった事により、暫く行事が中止となり、行事に参加していた学生も卒業し、行事自体の存続を危惧していました。しかし、卒業間もない学生を中心に今年は再び行事が行われる事となり、参加してきました。残念ながら、結婚・出産、転勤、子供の行事等で参加できないOBも多数いましたが、昔の思い出や近況を報告し合う等、学生に戻った様でした。とりわけ、今は退官されてしまいましたが、当時、顧問を務めてくれていたI先生とも久しぶりにお会いできた事は嬉しかったです。このI先生、アジア・日本ランキング等で1位にもなった事があり、その年代では知らない人がいないと言っても過言ではない凄い人です。私も含めて先輩OB達は、テニスでボコボコにされた苦い経験がある上に、部の運営等の幾度となく相談に乗って頂いた経緯があり、今でも頭が上がりません。大学卒業後、たまに大会で顔を合わせますが、偉ぶる様子もなく、いつもニコニコしながら話をしてくれ、祖父の様な感じでした。そんなI先生も、70歳を超えたとは思えない軽快な動きを見せてくれました。「また、来年もお願いします」、「生きてれば・・・」等、冗談を言いながら朝から日が暮れるまで久しぶりのテニスでした。夜は、仕事で来れなかったOBと合流し、飲み会。大学を卒業して、10年以上が経過しますが、「あの大会でこんな事があったな」、「〇〇大学との試合の時はこうだった」等、当時の楽しかった・苦しかった思い出と共に蘇ってきます。不思議な事に、楽しい事よりも、あの時のあのプレーがなかったら等、悔しい事の方を話しているのが多かったと思う。いずれにせよ、同じ時間を過ごした仲間と話す時間はあっという間に終わり、翌日には約束事のように筋肉痛が襲ってきたのは言うまでもありません。



## はんだ山車まつり

岩間 正美（森松産業）



多くの山車行事が残る愛知県の中でも、半田市は市内10地区で31輦の山車が大切に守られてきた「山車のまち」です。「はんだ山車まつり」は5年に一度のイベントで、市内31輦すべての山車が半田運河周辺に集結し、横一列に勢揃いした様は壮観そのものです。また、からくり人形や獅子舞などの伝統技芸の妙技は見る人を魅了し、「第八回はんだ山車まつり」では人口約11万人の半田市に全国から約55万人（主催者発表）の来場者がありました。6年ぶりとなる「第九回はんだ山車まつり」は、市民・地域、皆が一丸となり開催することで、コロナ禍を乗り越えた慶びを分かち合いたい、そんな願いを込め、テーマに「慶（よろこび）」を掲げ、開催に向け準備がすすめられています。また、会場周辺には見どころも豊富です。【MIZKAN MUSEUM】（ミツカンミュージアム）ミツカンの酢づくりの歴史や、食文化の魅力に触れ、楽しみ学べる体験型博物館です。ミツカンミュージアムを見学するとお酢の製法や特徴が分かります。



【國盛 酒の文化館】現役の酒蔵の一部を活用し、江戸時代から300有余年の歴史を誇る酒造りの道具・資料を展示しています。利き酒もできます。【半田赤レンガ建物】半田赤レンガ建物は、明治31年に「カブトビール」の醸造工場として建設されました。現在は、多くの方々に愛される半田市の象徴的な文化遺産となっています。少し足を延ばせば『ごん狐』の作者の新美南吉記念館もあります。また、会場周辺に出る屋台やキッチンカーなどのB級グルメも楽しみの一つです。まだ行かれたことのない方は是非一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 鳥取砂丘

西垣 浩司（製造部）



日本海に面して、なんと東京ドーム約820個分の広大な砂地が鳥取砂丘です。砂丘散策はもちろん、足が砂に埋もれるのでパンプスやヒールのある靴は避けて歩きやすいスニーカーがおすすめです。砂の感触を感じるには裸足やサンダルもいいなあ。夏場は砂が60℃近くになるので高温には注意が必要である。足についた砂を綺麗にするには洗い場・タオルの自動販売機なども鳥取砂丘ビジターセンターに完備しているので上手く活用するのもいいと思います。どこまでも続く砂の世界。はじめて鳥取砂丘を訪れたところ、そのスケール感に圧倒されます。一番の見どころは高さ47mの壮大な砂の丘「馬の背」。急斜面を登りきると目の前には日本海が広がり、はるか遠くの海岸線まで見渡すことができます。砂と風が織りなす圧巻の光景。訪れる季節や時間帯によってもさまざまな表情を見ることができるのも鳥取砂丘ならではの魅力です。砂丘エリアには砂の美術館や多鯰ヶ池（たねがいけ）などの見どころも満載で、らくだ乗り体験や砂の上も走れる自転



車で、鳥取砂丘の雄大な景色の中を駆け抜けるアクティビティで、極太タイヤで安定感抜群なので広大な砂丘を思いっきり楽しめるアクティビティです。さあ、鳥取砂丘へ出かけてみませんか。



# “暑さ対策” 残暑バテには気を付けよう！！！！

## 残暑バテの症状

- ・目覚めの悪さ
- ・疲れやすい
- ・疲労感
- ・めまい
- ・立ち眩み
- ・食欲不振
- ・胃腸の調子が悪い



## 残暑バテ対策3つ

### 睡眠習慣の見直し

疲労回復・自律神経を整えるために毎日6～7時間の睡眠・起床後、日光を数分浴びる

### 入浴方法の見直し

熱すぎるお風呂や長風呂は交感神経を優位にするため

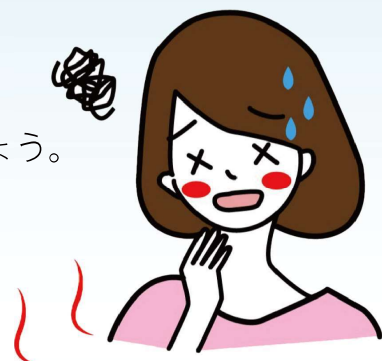
入眠を妨げる原因になります。

寝る2時間前の入浴・38~40℃のぬるま湯に10分以上つかないようにしましょう。

### 運動習慣の見直し

適度な運動で軽い疲労感を得ることはリラックスを促し

質の高い睡眠につながります。



## 最近観た映画の話

木村 天 (東京オフィス)



皆さん映画は好きですか？私は映画を見るのがとても好きで空いた時間によく映画鑑賞をしています。最近は AmazonPrime や Netflix、Disney+ など様々な動画配信サービスが普及してきてお家で気軽に映画鑑賞が楽しめるようになりました。でもやっぱり映画を見るなら映画館で見たいですよね。私が最近見た映画の中でこれは絶対に映画館で見るべきだと感じた映画をご紹介します。それは6月16日に公開された映画「スパイダーマン：アクロス・ザ・スパイダーバース」です。こちらはアメコミを原作としたCGアニメ映画ですが普通のアニメ映画とはわけが違います。まるでコミックの世界にジェットコースターで突入したんじゃないかという感覚になる映画です。前作の「スパイダーマン：スパイダーバース」は映像表現、色彩がとても素晴らしく非常に質の高い映像と物語を与えてくれましたが、今作はそんな前作をはるかに上回る映像美に圧倒され、まるでとてつもない量のアート作品を連続で見ているかのような実に実験的で挑戦的な映像体験で、



映画を見終わった後は作品のあまりのスピード感、情報量にまるで軽い運動でもしたかのような疲労感と共にとても爽快な気持ちにさせてくれました。映像もさることながら物語も非常によくできたジュブナイル映画であり宮崎駿監督の「天空の城ラピュタ」を彷彿とさせるようなワクワク感を与えてくれるそんな映画です。これを映画館で見ないのは本当にもったいないと思わせてくれる映画なので是非映画館で鑑賞してみてください。前作の「スパイダーマン：スパイダーバース」は AmazonPrime 等で視聴できるので週末は是非ご家族、友人と映画館に足を運んでみてください。